



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 73

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 73. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1958, 73: 37-42

ISSUE DATE:

1958-10-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186793>

RIGHT:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興會

## 水族館月報

No. 73

1958. 9月(10月5日)

### 録 事

構内の各建物を相互に連絡するノーベルフォン式構内電話が完成した。なお実習室西半室の窓に暗幕を設置し、講義講読の必要に応じて隨時映写ができるようにした。

UNESCO委託の海洋生産力に関する調査研究の一部として布施委員原田研究員は宗人地球物理学教室の堀尾義昭氏と共に南紀定島観測に赴く和可山水試の黒潮丸に便乗し、9月1日より11日まで紀伊半島沿岸水と黒潮流の調査に赴いた。

天草臨海実験所の波部博士は9月7日來所、"Obelia"を使用して田辺湾の底生動物群集を調査し14日退所した。

神戸市立須磨水族館にて研修中のシンガポールVan Kleeef 水族館長S. A. Nathan氏は12日奥野氏の案内にて来館。同氏は元々建築技師なので、当水族館の改築計画にも少なからぬ興味と関心をよせ、種々設計上有益な助言を与えられた。

去る8月20日大阪港を出発した時岡委員より同月31日無事Rabaulに到着、24屯の船をチャーターして12日朝Rabaulを出発New Caledoniaに向う旨しらせがあった。

秋の行衆旅行は四国の高松及び金比羅さんまいると決定し、取巻は2班に分かれて下旬の閑散期を利用して出発した。

## 業 務 概 況

### ◎ 9月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	3911	42201	8497	88455	12408	130656
小 人	163	4923	88	3998	251	8921
団 体	6705	75767	—	—	6705	75767
合 計	10779	122891	8585	92453	19364	215344
無料入場者					9	475

団 体 : 一般 95組, 学生 4組 計 99組

### ◎ 9月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金	362,183	3,895,049
予金積立金剥子	16,908	279,056
雑 収 入	180	24,410
魚 類 拂 下	—	8,940
絵はがき拂 下	6,760	64,550
計	386,031	4,272,005

### ◎ 9月の支出

#### 水族館経費

費 用 区 分	金 額	累 計	備 考
人 件 費	68,877	527,659	
会 議 費	14,400	61,957	省下セット
備 品 費	—	86,520	
消 耗 費	17,790	101,917	追加ガラス他
車 業 費	41,927	398,284	
維 持 費	28,232	72,552	ポンプ修理他
其 他 諸 経 費	72,554	326,329	秋季旅費旅行他
積 立 金	75,521	468,510	
合 計	319,301	626,032	

### 実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	60,000	
奨 学 金	8,000	48,000	
備 品 費	270,425	344,225	実体顕微鏡、暗幕
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	217,534	
役 務 費	—	—	
合 計	278,425	669,759	

### 博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	20,200	142,285	
備 品 費	—	51,020	
消 耗 費	—	5,515	
役 務 費	—	8,030	
合 計	20,200	206,850	

### 臨時費

摘 要	金 額	累 計	備 考
構内連絡電話設置	154,560		
合 計	154,560	562,560	

### 支出合計

(今年度累計)

水族館経費	319,301	6,260,327
実験所経費	278,425	669,759
博物館経費	20,200	206,850
臨時費	154,560	562,560
計	772,486	7,699,496

### ◎ 9月末現在高

前月からの繰越	846,794
今月の収入合計	386,031
今月の支出合計	772,486
現 在 高	460,339

◎ 前年度との比較

	1957	1958	増	減
入 場 者 数	24951	19364	-	5587
売 上 金	465123	362183	-	102940
支 出 金	1003897	772486	-	231411

水 族 館 記 事

- ◎ 昨年(1957)4月25日から5月30日までの間に当館内で生まれたオオセの仔は飼付きもよく元気で、順調な發育を期待していたが、次第に数が減って、遂に今月にいたり、全個体死亡してしまった。22日に死亡したものは標本として保存したが、全長31cmであった。カワハギを同居させていたので、空腹なカワハギがオオセの仔をつついて死に至らしめたようである。今後このような魚類の同居に更に注意を必要とする。
- ◎ 21号及び22号と続いて大きな台風がやってきて、海水の塩分濃度も可成り低下した日があった(最低値は24日の15.38 ‰)が、水槽内の動物には直接の影響はなかった。又これらの台風は今回はむしろ素通りの形で、建物施設には何等の被害もなかった。
- ◎ 死亡水族一覧  
アカウミガメの仔 1匹(6日)、カブトガニ 1匹(7日)、モンガラカワハギ 1匹、アマツラハギ 2匹(13日)、カノコイセエビ 2匹(15~17日)、トゲシャコ 1匹(17日)、イトヒキアジ 1匹(24日)、アサヒガニ 1匹(30日)
- ◎ 12日全長20cm位のマアジを15匹入れたが、飼つき悪く、次々と死んで、30日現在3匹を残すのみとなる。

## 資 料

- ◎ 9月の気象 (9時観測)  
南水槽壁 (水温比重は NO. 25 水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数 (14)	3	7	4
室 温 (°C)	$\frac{26.7 \sim 29.7}{28.3}$	$\frac{24.4 \sim 29.3}{27.5}$	$\frac{22.0 \sim 26.6}{23.5}$
水 温 (°C)	$\frac{26.41 \sim 28.72}{27.82}$	$\frac{25.28 \sim 28.02}{26.92}$	$\frac{23.72 \sim 25.72}{24.74}$
比 重 (0.15)	$\frac{24.38 \sim 24.90}{24.75}$	$\frac{23.99 \sim 25.04}{24.59}$	$\frac{20.46 \sim 24.94}{23.56}$

取入口

水 温 (°C)	$\frac{26.42 \sim 29.12}{28.15}$	$\frac{25.92 \sim 28.30}{27.37}$	$\frac{24.12 \sim 26.80}{25.33}$
比 重 (0.15)	$\frac{24.63 \sim 25.08}{24.89}$	$\frac{24.56 \sim 25.25}{25.01}$	$\frac{23.85 \sim 25.08}{24.70}$

## 来 訪 録

- 9月 12～13日 シンガポール Van Kleeef 水族館長 S.A. Nathen 氏及び須磨水族館奥野良之助氏 (前述)  
9月 17日 北隆館谷口喜雄氏 (海産動物の生時の色彩採集のため動物標本借用)  
9月 21日 近畿大学白浜臨海研究所にて実習中の近大水産学科学生 20名, 松井所長及び原田輝雄同所主任の案内にて見学。

## 正 誤 表

- 月報 NO. 71, P. 23 の下から9行目の6月中を5月中に訂正。
- 月報 NO. 72, P. 32 の8月の支出水族館経費の中消耗費累計 84,172 を 84,127 に訂正

昭和33年10月5日 (NO. 73)

編集兼  
発行者

内海 富士夫

発行所

瀬戸内海実験所振興会  
和可山泉白沢町  
瀬戸内海実験所内  
(Tel. 白沢温泉 515)